

Nakano 公明

平成29年1月5日 第94号 公明党中野総支部 〒164-0003 中野区東中野4-30-16 ライオンズマンション中野東101-B



中野から、東京の 明日を開く。

都政に大きな注目が集まる中、新しい年を迎えました。山積する課題に真直面から向き合い、都政改革の先頭に立って、「3つの挑戦」に取り組みます。

第1に議員報酬の削減など「身を切る改革」。第2に私立高校授業料の実質無償化を柱とする「教育負担の軽減」。第3に2020年東京五輪・パラリンピックに向け、「世界一のバリアフリー都市」の構築です。

一方、中野区内では、JR中野駅周辺の整備や防災対策をはじめ、安全・安心と活力あるまちづくりを加速させます。深刻な待機児童問題の解消や健康長寿への取り組み、住み慣れた地域で医療、介護、生活支援等のサービスが受けられる地域包括ケアシステムの推進などにも力を入れます。

これまで培った経験をフルに生かし、中野から東京の明日を開くため、区議団と共に全力で働いてまいります。

東京都議会議員
公明党中野総支部長 高倉良生

東京都議選 りょうせい 高倉良生氏 を公認

首都決戦23人の完勝めざす



党都本部議会局長。都議3期。区議2期。防災士。創価大学卒。59歳

公明党は昨秋、東京都新宿区の党本部で中央幹事会を開き、東京都本部（高木陽介代表）からの公認申請を受け、本年の東京都議会議員選挙（7月22日）が任期満了に臨む中野区の高倉良生氏（写真）ら現職と新人合わせて23人の公認を決定しました。

来年度予算で重点要望

安心して暮らせる街を

東京都議会公明党は昨年12月21日、小池百合子知事に対し来年度予算編成に関する要望書を手渡しました【写真上】。高倉良生議員も同席しました。主な内容は次の通り。



- ① 私立高校に通う生徒がいる家庭の経済的負担を軽減するため、世帯年収約910万円（目安）未満の世帯の授業料負担を実質無償化。
 - ② 誰もが安心して生活・移動できる「世界一のバリアフリー都市」の構築へ、都内全鉄道駅でのホームドア設置に向けた計画の策定。
 - ③ 待機児童解消に向け、人手不足が指摘される保育士の待遇改善。
 - ④ 妊娠期から子育て期まで切れ目のない支援を行う「ゆりかご・とろきょう事業」（東京版ネウボラ）の拡充。
- 小池知事は、予算編成に向け「しっかりと進めていく」と応じました。
- ◇ 一方、党中野区議団も昨年



11月15日、来年度予算に盛り込むべき重点8分野36項目の施策を田中大輔区長に要望しました【写真下】。

席上、区議団が「安心して暮らせる街・中野」をつくるよう強く求めたのに対し、田中区長は提案内容を予算に反映していく考えを示しました。